

会社名 SHINPO株式会社 (JASDAQ・コード番号：5903)
(登記上シンポ株式会社)

URL <http://www.shinpo.co.jp/>

問い合わせ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 山田武司

責任者役職・氏名 取締役経理部長 水野泰彦

Tel：(052)-776-2231

1. 四半期財務情報作成等に係る事項

①会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無：有

法人税等の計上基準は、法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。
また、引当金の計上基準などの会計処理については一部簡便的な方法によっております。

②最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無：無

③四半期業績の開示は、売上高、品目別売上高を除き当事業年度から行っているため、前年同四半期の数値及び前年同期比を記載しておりません。

2. 平成19年6月期第3四半期財務・業績の概況（平成18年7月1日～平成19年3月31日）

(1) 経営成績の進捗状況

(百万円未満切り捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期) 純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
平成19年6月期第3四半期	2,626 (0.4)	62 (—)	82 (—)	41 (—)
平成18年6月期第3四半期	2,615 (1.2)	— (—)	— (—)	— (—)
(参考)平成18年6月期	3,778	210	353	254

	1株当たり 四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
平成19年6月期第3四半期	7 33	— —
平成18年6月期第3四半期	— —	— —
(参考)平成18年6月期	44 83	— —

(注) 売上高におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期におけるわが国経済は、米景気の先行き不透明感はあるものの、企業の設備投資が増加基準を保ち続けていることに加え、雇用環境の改善が個人消費持ち直しの後ろ盾となり、景気は緩やかな安定成長を維持しております。

このような状況の中焼肉業界も、売上高は前年と比較して増加傾向になってまいりました。それに伴い、新規出店も若干増加してまいりました。その結果、売上高は2,626百万円(前年同期比0.4%増)となりました。製品売上、据付工事売上等は増収となりましたが、原材料等の高騰により原価コストが上昇し、営業利益は62百万円にとどまりました。経常利益は有価証券売却益21百万円を計上したため、82百万円となりました。特別損益についても、投資有価証券売却益42百万円を計上しましたが、一方で投資有価証券評価損22百万円も発生いたしました。

以上の結果、当第3四半期の当期純利益は41百万円となりました。

品目別売上高は次の通りであります。

(単位:百万円)

品 目	当 四 半 期		前 年 同 四 半 期		前 期 比 増 減	
	売 上 高	構 成 比	売 上 高	構 成 比	金 額	増 減 率
		%		%		%
製 品	861	32.8	799	30.6	61	7.7
部 材 品	439	16.7	437	16.7	2	0.4
据 付 工 事	610	23.3	586	22.4	24	4.2
その他内装工事	259	9.9	511	19.6	△251	△49.2
商 品	454	17.3	280	10.7	174	62.0
合 計	2,626	100.0	2,615	100.0	10	0.4

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態の変動状況

	総 資 産	純 資 産	自 己 資 本 比 率	1 株 当 たり 純 資 産
	百万円	百万円	%	円 銭
平成 19 年 6 月 期 第 3 四 半 期	3,902	2,717	69.6	480 08
平成 18 年 6 月 期 第 3 四 半 期	—	—	—	— —
(参考)平成 18 年 6 月 期	4,053	2,834	69.9	500 76

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期の総資産は3,902百万円で、前会計年度比151百万円減少いたしました。総資産減少の主な理由は、有価証券および投資有価証券が減少したこと等によるものであります。

[参 考]

平成 19 年 6 月 期 の 業 績 予 想 (平 成 18 年 7 月 1 日 ~ 平 成 19 年 6 月 30 日)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円
通 期	4,000	210	110

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 19円43銭

[業績予想に関する定性的情報等]

平成 19 年 6 月 期 の 業 績 は、概ね順調に推移しており、現時点において平成 19 年 2 月 28 日発表の数値を修正するまでにはいたっておりません。

※上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後状況の変化等により予想数値と異なる場合があります。